

【今月のお知らせ】

# Monthly News

## 地球にやさしい暮らしを！6月は環境月間です

問合せ 保健環境課管理係（内線182）

### 進む地球の温暖化

地球規模で進む環境問題の中に地球の温暖化があります。この地球の温暖化は、大気中の温室効果ガス濃度の上昇によって大気のバランスが崩れることにより、地球全体が暖かくなることを言います。

### 家庭でできる地球温暖化対策

地球温暖化の元である二酸化炭素を含む温室効果ガスの排出量を減らす取り組みの事例を紹介いたしますので、家族みんなで話し合い、家庭で実践してみましょう。一人ひとりの行動の積み重ねが大切です。

### 原因の温室効果ガスとは

温室効果ガスとは、地表から放射される赤外線を吸収する気体で、この気体には、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）やメタン（CH<sub>4</sub>）、フロンなどがあります。最も排出量が多い二酸化炭素は石油や石炭などの燃焼によって排出され、私たちの生活とも大きく関わっています。

### 家庭から発生する二酸化炭素

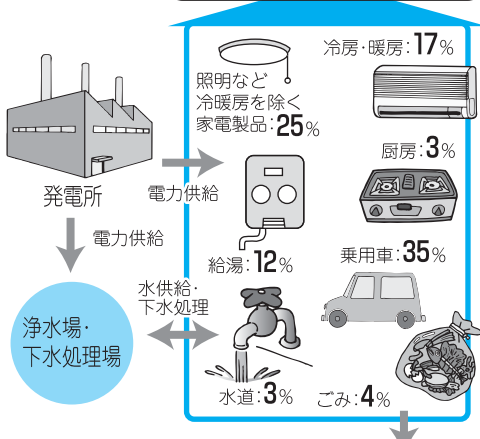
家庭生活から排出される二酸化炭素は、日本全体の排出量の23%を占め、地球温暖化に大きな影響を与えています。

家庭の中で最も二酸化炭素の排出量が多いのは乗用車の使用によるもので、ついで照明など冷暖房を除く家電製品となっています。

家庭で以下の取組みを行うと、我が国の温室効果ガス排出量（1990年）を2.8%削減できます。（CO<sub>2</sub>換算）

取組みの例	一世帯当たりの年間CO <sub>2</sub> 削減効果	一世帯当たりの年間節約効果	備考
1 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する	約 31kg/年	約 2,000円/年	カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、着るものを工夫することで、冷暖房機に頼らないで過ごせる。冷暖房を始める時期も少し待ってみる。
2 週2日往復8kmの車の運転を控える	約185kg/年	約 8,000円/年	通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用する。歩いたり自転車を使う方が健康にも良い。
3 1日5分間のアイドリングストップを行う	約 39kg/年	約 2,000円/年	駐車や長時間停車するときはエンジンを切る。大気汚染物質の排出削減にも寄与する。
4 待機電力を90%削減する	約 87kg/年	約 6,000円/年	主電源を切る。長時間使わないときはコンセントを抜く。買い換えのときは待機電力の少ない製品を選ぶ。
5 シャワーを1日1分家族全員が減らす	約 65kg/年	約 4,000円/年	身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにする。
6 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす	約 17kg/年	約 5,000円/年	洗濯や、庭の水やりのほか、トイレの水に使っている人もいる。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利である。
7 ジャーの保温を止める	約 31kg/年	約 2,000円/年	ポットやジャーの保温は、利用時間が長いため多くの電力を消費する。ごはんは電子レンジで温めなおすほうが電力消費が少なくなる。
8 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす	約240kg/年	約11,000円/年	家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明も余計に必要なになる。
9 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜などを選ぶ	約 58kg/年	—	トレーやラップは家に帰ればすぐごみになる。買物袋を持ち歩いてレジ袋を減らすことも出来る。
10 テレビ番組を選び、1日1時間テレビの利用を減らす	約 13kg/年	約 1,000円/年	見たい番組だけ選んで見るようにする。
合計	約766kg/年	約41,000円/年	—

### 家庭でのCO<sub>2</sub>排出の内訳



（出典：環境省）

# 子育て支援に関する行動計画が策定されました

現在、日本の出生率はここ30年長期低落傾向を強め、高齢化社会を迎えるに当たり社会保障からの観点からもとても不安を感じる場所です。その要因としては従来晩婚化・非婚化が挙げられていましたが、新たな要因として「夫婦の出生力そのものの低下」という新しい現象がみられ、今後の少子化は一層進行すると考えられます。

その中で、国の次世代育成対策推進法の制定を受け、幸田町でも平成17年4月に、子育て支援に関する行動計画「幸田町次世代育成支援行動計画」を策定しました。この行動計画は、子育てと仕事の両立をめざして保育サービスの充実を進めてきた、これまでの行動計画「幸田町エンゼルプラン」(平成13年3月策定)に加え、専業主婦家庭を含む全ての子育て家庭を支援することを最大の柱として、今後の計画の実行に努めていきます。

**Q なぜ行動計画を作る必要があるの？**

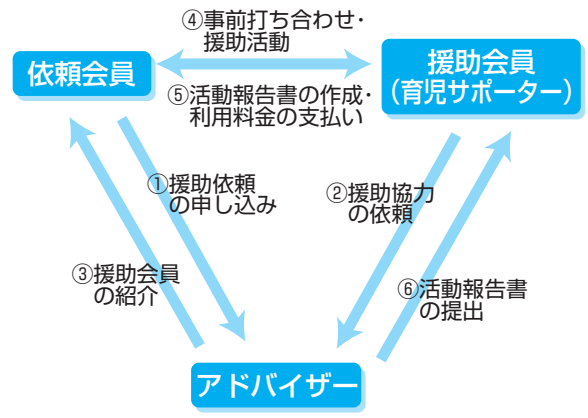
**A** 今までの行動計画「幸田町エンゼルプラン」では、仕事と子育ての両立を支援することを主眼においてきましたが、夫婦そのものの出生力の低下が問題とされている現状から、より対象を広げ全ての家庭において子育て環境の見直しや、新たな支援策が必要であると判断したためです。

**Q 内容はどのようなものですか？**

**A** 今回の行動計画では平成17年から平成21年度までを計画期間とし、以下の3つを基本目標として計画を推進していきます。

- (1) **安心して産み、育てることのできるまちづくり**  
安心して子育てができるような環境の整備、乳幼児に対する健康診査と事後指導や、相談体制の充実等の母子保健環境の充実や子育てについての相談支援体制の整備を進め、子育ての悩みや不安の解消、負担感の軽減を目指します。
- (2) **子どもたちがのびのびと育つまちづくり**  
子どもたちが、さまざまな体験や交流を通して豊かな人間関係を築き、社会性を育むことができるよう環境の整備等に努めます。
- (3) **子育てをみんなで支えあうまちづくり**  
子育ては次代の担い手を育成する営みであるという観点を持ち、地域の人々全体が子どもの成長に温かなまなざしを注ぐ人が増えていくような地域社会を目指

- し、それを支援する取組をしていきます。
- Q 具体的にはどんなサービスが受けられるの？**
- A** 本計画については、基本目標を元に今までの施策の反省や見直しを進めるとともに、子どもの育成環境の整備として、既存のサービスでは対応できなかったサービスの一例として以下のようなことを検討しています。
- ・ 休日も仕事をされるかたへの対応としての休日保育の実施
  - ・ 仕事や冠婚葬祭だけでなく、リフレッシュのための一時保育の実施
  - ・ 幼児、小学生等を預かって頂きたい方(依頼会員)と子育てのお手伝いができる方(援助会員)を会員組織として、信頼と合意の上で紹介するファミリーサポートセンターの設立
- などがあります。



問合せ 住民児童課保育児童係 (内線117)

**●幸田町職員の子育て育成支援計画を作成しました**

幸田町役場では、職員の子育て育成支援として「職場がつくる子育てプログラム～職員みんなで支えあう職場づくり～」を作成しました。主な内容は以下のとおりです。

- ① 育児休業を積極的に取得できる職場環境を作る。
- ② 年間時間外勤務時間数について、150時間以内の達成に努める。
- ③ 毎月19日を「育児の日」とし、19時には退庁する。

問合せ 総務課人事秘書係 (内線 337)

## 愛・地球博

### ●4月26日 中央小学校 三河万歳 in 長久手愛知県館

中央小学校万歳クラブの子どもたち10人が出演しました。当日は、本番直前に雷がなったため、2時間遅れとなるハプニングもありましたが、長い待ち時間も何のその。子どもたちは、たくさんの来場者の前で元気いっぱいに演じました。公演後に司会者からインタビューを受けた子どもたちは、「みんなで力を合わせてがんばりました。今までで一番上手にできました」と笑顔で話していました。外国人も含めた来場者は、かわいい太夫や才蔵たちの姿を盛んにカメラに収めていました。



### ●5月10日 カンボジア王国ナショナルデー in EXPOホールほか

式典には、カンボジア王国のフン・セン首相も訪れ、町長からフン・セン首相へ花束贈呈などが行われました。

また、アトラクションでは、カンボジアの伝統的な踊りであるアプサラダンスを豊坂小学校の児童たちが踊り、会場は盛り上がっていました。



### ●5月15日 西三河地域の日 in あいち・おまつり広場

「祭・食・健・美 とくがわの西三河」をメッセージとするこの日は、幸田町の魅力を届けようと、三河万歳保存会と幸田ダンシングチームが集いました。

現代に花咲く伝統芸能である三河万歳と、新時代の躍動である万博音頭。幸田町が誇る2つの文化が見事なハーモニーを奏で、会場に調和とリズムが生まれました。



## ●5月11日 カンボジア王国フレンドシップ交流会 in 町民会館



交流会は、まず荻谷小学校の鼓笛隊による演奏から始まりました。



セレモニーでは、町長とチャム・ブラシッド商業大臣が握手をし、互いに友好を確認し合う場面も見られました。また、カンボジアから銀製のカボチャがプレゼントされました。



▲アプサラ・ダンス（カンボジアに昔から伝わる伝統的な舞踊。彼女たちが円形になって動くしぐさは、天と地の間のさまよいを象徴しています。）

セレモニー終了後はカンボジア・幸田町お互いの演技披露となりました。カンボジアはアプサラ・ダンスやフィッシング・ダンスなどの伝統的な舞を披露しました。



▲プローソイダンス（プローは管楽器の一種です。命の永遠のつながりや、時の起源を思い起こさせるために吹き込む楽器です。）



▲剣舞

また、幸田町からは剣舞や日本舞踊、パラパラダンスなどを披露しました。

最後にカンボジアの伝統の踊りサラバンを出席者全員で踊り、大盛況のまま交流会は終了となりました。



## ●カンボジア国営テレビが幸田町を撮影に訪れました

カンボジア国営テレビのディレクターであるタデット・トユウさんとカメラマンのトン・コーさんが5月2日から20日まで幸田町を撮影に訪れました。これは9月13日から15日まで行われる愛知万博一市町村一國フレンドシップ記録映画製作事業『フレンドシップ・フィルム・フェスティバル』の映画を作製するため、2人は幸田町の名所などをフィルムに収めていきました。